
【1】第17回高校生理学研究発表会のご案内

【2】科学コンクールについて

【3】「リジェネロン国際学生科学技術フェア (Regeneron ISEF) 2023」の結果等について

【1】第17回高校生理学研究発表会のご案内

千葉大学では、全国の高校生を対象に、日頃から課題研究活動等で行っている自然科学分野の研究発表の機会を設け、優れた発表を表彰して奨励すると共に、個々の研究内容にアドバイスを与えることで、広く自然科学教育の向上と充実を図ってまいりました。

今年で第17回を迎える高校生理学研究発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、対面によるポスター発表（午前、午後の入れ替え制）とオンライン（LINC Biz）による発表資料の公開を併用して開催します。

研究成果の発表の場として、また、研究のアドバイスを受ける場として、多くの高校生が参加されることを期待しています。

この催しには、千葉県教育委員会、文部科学省をはじめ多くの機関・組織の共催・後援・協賛をいただいています。

●対象

高校生（参加費無料）

●日時

ポスター発表：令和5年9月30日（土）

発表資料の公開（オンライン）：令和5年9月27日（水）～令和5年10月3日（火）

●会場

千葉大学西千葉キャンパス「体育館」（千葉市稲毛区弥生町1-33）

●応募期間

令和5年8月29日（火）～令和5年9月4日（月）正午（厳守）

※申込は必ず高校（申込責任者）を通して行うこと。なお、オンラインでの発表資料公開のみの参加申込みはできません。

●研究発表の分野

応募できる分野は次の8分野です。日本語による発表のほかに、英語による発表も募集します。

(1) 物理Ⅰ（物理学一般、宇宙物理など）

(2) 物理Ⅱ（機械工学、電気工学、土木建築工学、ロボット工学、航空工学など）

(3) 化学Ⅰ（物理化学、無機化学、分析化学など）

(4) 化学Ⅱ（有機化学、生化学、環境化学など）

(5) 生物Ⅰ（動物科学、栄養・病理・生理学、心理学など）

(6) 生物Ⅱ（植物科学、園芸学、微生物学など）

(7) 地学（地質学、気象学など）

(8) 数学・情報

●開催方法

ポスター発表

- (1) 発表者は9月30日(土)、千葉大学にて持参したポスターを使用して研究発表を行う。
なお、ポスターを貼付するパネルのサイズは横900mm×縦1800mmである。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策として、発表会は午前、午後の入れ替え制(発表者、見学者)で実施する。
なお、引率教諭は終日の参加を可とする。
時程は以下の通りである。
午前の部(Aグループ)受付 8:40～9:20 発表1 9:30～10:30, 発表2 10:40～11:40
午後の部(Bグループ)受付 11:50～12:30 発表1 12:40～13:40, 発表2 13:50～14:50
- (3) 新型コロナウイルスの感染状況により、発表会参加者の人数制限(例:1研究3名まで、見学のみは認めない等)を設ける場合がある。その判断は9月上旬までに行い、申込責任者に連絡する。
- (4) 優れた発表は表彰し、千葉大学高大連携支援室のWEBサイトで公開する。
- (5) オンラインシステムにて、審査委員から発表者へ講評等のコメント投稿を行う。

発表資料の公開(オンラインシステムによる並行実施)

- (1) 申込書に記載された発表代表者のメールアドレス宛に、招待メールが送信される。
- (2) 発表代表者は招待メールに記載されている「登録用URL」からアカウントを登録する。
- (3) 発表代表者は、ポスター発表資料(可能なファイル形式はJPEG/PNG, PDF, MP4, MP4audio)を作成して、各々の発表チャンネルに9月25日(月)正午までに投稿する。オンラインでの発表資料は対面での発表を見学できない参加者、審査委員等のための閲覧資料とする。
使用するオンラインシステムはLINC Biz ポスターセッションプラン [(株)AIoTクラウド]である。

●主催

千葉大学

●共催

千葉県教育委員会

●後援

文部科学省、千葉市、千葉市教育委員会、千葉県高等学校長協会、千葉県高等学校教育研究会理科部会、千葉県高等学校文化連盟、国立研究開発法人科学技術振興機構、日本理化学協会、株式会社JTB

●協賛

公益財団法人双葉電子記念財団、ヨウ素学会、DIC株式会社総合研究所、千葉県高等学校PTA連合会、千葉大学生協同組合

第17回高校生理科研究発表会の「募集要項」、「応募マニュアル」、「申込書」、「発表資料(公開用)」の作成について」を下記URLに掲載しています。

<http://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/requirements.html>

【2】科学コンクールについて

- 「日本学生科学賞」 URL: <https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>

1957年にスタートした日本学生科学賞は、読売新聞社が半世紀を超えて主催してきた日本で最も伝統のある科学コンクールです。物理、化学、生物、地学、広領域(複数の分野にわたる研究など)の5つの分野は都道府県ごとに募集。地方審査を通過し、都道府県代表に選ばれた作品が中央審査

に進みます。情報・技術、応用数学分野は地方審査を行わず、中央一括審査の形で応募を受け付けます。高校生が中央最終審査で上位入賞すると、ISEF（国際学生科学技術フェア）へ出場できるチャンスがあります。

令和5年度地方審査（千葉県児童生徒・教職員科学作品展）の出品受付は9月27日（水）です。実施要項は下記のURLをご覧ください。

ice.or.jp/nc/?action=common_download_main&upload_id=95161

○「高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC=Japan Science & Engineering Challenge）」

JSEC（Japan Science & Engineering Challenge）は、全国の高校生と、高等専門学校生を対象に、朝日新聞社が2003年に始めた科学技術の自由研究コンテストです。中等教育における理科教育の向上に貢献することで我が国の科学技術水準向上を目指し、また、自発的に考えて課題を解決する力を、若い世代に身につけてもらうことを目的としています。対象となる研究分野は、伝統的な「理科」の範囲に加え、ロボット工学、数学、行動・社会科学などもあり、多岐にわたります。都道府県ごとの地方審査はなく、全国から直接応募できます。国際競争力のある人材を育成するために、上位入賞者を国際大会ISEFに派遣し、世界に視野を広げた活躍を促進しています。

JSEC2023は9月1日から応募受付開始。最終審査会は12月9日（土）・10日（日）に実施します。

○「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」

URL：<https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/event/botchan-science>

- ・理科、数学、情報の授業や科学クラブなどでの自然科学に関する調査について
- ・科学技術、環境・生態保護、災害、省エネ関係、実験器具の開発、及び地域に根ざした研究テーマ等これらに関する興味と関心、知的探求心などをもって取り組んだ個人・グループでの研究成果について

「論文応募票」の提出	2023年 7月31日（月）	学校経由
論文の提出	2023年 8月31日（木）	必着
審査結果発表	2023年 9月30日（土）	発送
受賞者の発表会	2023年 11月12日（日）	対面・オンラインライブ配信による発表会

【3】「リジェネロン国際学生科学技術フェア（Regeneron ISEF）2023」の結果等について

国際学生科学技術フェア（ISEF=International Science and Engineering Fair）は、世界各国から参加した高校生等が、個人またはチームで研究成果を競い合う国際的科学技術コンテストです。アメリカで毎年開催されていて、2023年は74回目でした。本年は、5月15日（月）～5月19日（金）、テキサス州ダラスで開催され、64の国・地域から1,638名の生徒が参加しました。日本からは11組18名の生徒が参加し、優秀賞2等1組1名、優秀賞3等1組1名、優秀賞4等1組2名、特別賞3組5名という結果でした。

詳細は下記のURLをご覧ください

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/1416581_00004.htm

【編集後記】

6月4日に行われた将棋の「学生名人戦」で優勝した学生が、対局中に将棋のAIソフトを使っていたことが判明し、失格となった。全日本学生将棋連盟によると、東京で行われた「学生名人戦」で優勝した学生の対局中の離席があまりにも多かったため、この学生に話を聞いた。すると、上着のポケットに電源の入ったスマートフォンが入っていて、局面を入力すると、最善の手を示す将棋のAIソフトを使用していた形跡があったという。全日本学生将棋連盟の対局規定では、対局中は持っている電子機器の電源を切らなければならないほか、将棋ソフトの使用も禁止されている。連盟は、この学生を失格とし、準優勝の学生を繰り上げて優勝とした。棋力向上のため、AIソフトを活用することは、現在では当然のことであるが、将棋を通じて、相手への敬意を表す気持ちや、負けても次へ進む勇気と負けから学ぶ姿勢といった大切な「心」を忘れてはいけない。(橋)